

再評価結果（平成23年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：三浦 真紀

事業名 地域高規格道路 島原道路 <small>しまばらちゅうおう</small> 一般国道251号 島原中央道路	事業 一般国道 区分	事業 国土交通省 主体 九州地方整備局																								
起終点 起点：長崎県島原市秩父が浦町 <small>しまばら しちちぶ うらまち</small> 終点：長崎県島原市下折橋町 <small>しまばら し しもおりはしまち</small>		延長 4.5 km																								
事業概要 国道251号島原中央道路は、地域高規格道路である島原道路の一部を担う延長4.5kmの道路であり、災害緊急時における代替路線としての機能を有し、また、島原市中心部の交通混雑緩和の役割や地域間連携の強化、観光支援等、地域振興に寄与するものである。																										
H9年度都市計画決定 H13年度事業化 H15年度用地着手 H18年度工事着手																										
全体事業費 約251億円 事業進捗率 60% 供用済延長 - km																										
計画交通量 5,500～14,700台/日																										
費用対効果分析結果	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">B / C</td> <td style="width: 20%;">総費用</td> <td style="width: 20%;">総便益</td> <td style="width: 40%;">基準年</td> </tr> <tr> <td>(事業全体)</td> <td>(残事業)/(事業全体)</td> <td>(残事業)/(事業全体)</td> <td>平成22年</td> </tr> <tr> <td>1.5</td> <td>48/253億円</td> <td>388/388億円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(残事業)</td> <td>事業費：47/253億円</td> <td>走行時間短縮便益：298/298億円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8.2</td> <td>維持管理費：0.6/0.6億円</td> <td>走行経費減少便益：61/61億円</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>交通事故減少便益：29/29億円</td> <td></td> </tr> </table>	B / C	総費用	総便益	基準年	(事業全体)	(残事業)/(事業全体)	(残事業)/(事業全体)	平成22年	1.5	48/253億円	388/388億円		(残事業)	事業費：47/253億円	走行時間短縮便益：298/298億円		8.2	維持管理費：0.6/0.6億円	走行経費減少便益：61/61億円				交通事故減少便益：29/29億円		
B / C	総費用	総便益	基準年																							
(事業全体)	(残事業)/(事業全体)	(残事業)/(事業全体)	平成22年																							
1.5	48/253億円	388/388億円																								
(残事業)	事業費：47/253億円	走行時間短縮便益：298/298億円																								
8.2	維持管理費：0.6/0.6億円	走行経費減少便益：61/61億円																								
		交通事故減少便益：29/29億円																								
感度分析の結果 ； 残事業について感度分析を実施 交通量変動：B/C=9.0（交通量 +10%） B/C=7.4（交通量 -10%） 事業費変動：B/C=7.4（事業費 +10%） B/C=9.1（事業費 -10%） 事業期間変動：B/C=7.7（事業期間+20%） B/C=8.4（事業期間-20%）																										
事業の効果等 交通混雑の緩和 ・国道251号の損失時間の削減（28.5万人時間/年 → 1.1万人時間/年） ・国道251号の旅行速度の向上（19.4km/h → 35.2km/h） ・国道251号の混雑度の低下（1.82 → 0.99） ・所要時間の信頼性の向上による便益【約13億円】 交通安全性の向上 ・国道251号の死傷事故件数の減少（36件/年 → 17件/年） 地域間交流・連携の促進 ・主要地域間の所要時間が短縮（旧深江町から旧有明町までの所要時間の短縮：約4分短縮） （雲仙市から南島原市までの所要時間の短縮：約4分短縮） 観光行動の支援 ・主要観光地へのアクセス所要時間の短縮（雲仙災害記念館～諫早IC：約4分短縮） 農産品輸送の支援 ・いちご・ばれいしょなど主要農産物の販路拡大 ・諫早ICまでの所要時間の短縮（JA営農センター～諫早IC：約4分短縮） 緊急医療活動の支援 ・第二次医療施設へのアクセス時間の短縮（旧有明町～第二次医療施設：約1分短縮、約3,700人） ・第二次医療施設へのアクセス時間の短縮（旧島原市北部～第二次医療施設：約1分短縮、約4,900人） ・救急医療活動のアクセス向上便益【約8億円】 代替路の確保 ・事故発生時の島原中央道路による迂回走行時間の短縮（約33分短縮） は、供用後50年間の便益額として試算した値（参考値）																										
関係する地方公共団体等の意見 島原市をはじめとする市長、市議会及び島原温泉観光協会等で構成される地域高規格道路「島原道路」島原市工区建設促進期成会（会長：島原市長）等により早期整備の要望を受けている。（平成22年11月）																										

県知事の意見：

(事業継続という対応方針(原案)に対し) 異存なし。

事業評価監視委員会の意見

審議の結果、事業継続。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

島原市内の国道251号では、依然として交通量が多く、混雑度が1.82と高い状況にある。

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成21年度末の事業進捗率は、事業費ベースで約60%であり、そのうち用地進捗率は約85%に達している。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

地元や関係機関との協力体制のもと、引き続き関係機関と調整を図りながら暫定2車線供用に向け整備を図っていく。

施設の構造や工法の変更等

- ・当面暫定2車線整備に必要な事業費に見直し【79億円】
- ・新技術・新工法の積極的活用、建設副産物対策等により、着実なコスト縮減

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上事業の効果、事業評価監視委員会における審議、知事等の意見を踏まえると、事業の必要性、重要性は高いと考えられる。

事業概要図



総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。